

特別講演 I

演 題：「トータル・ヘルスプロモーションの観点からの健康心理学への期待」

講演者：河野 慶三

河野慶三産業医事務所，人間総合科学大学・教授



司会者 大熊 保彦（東京家政大学人文学部）

プロフィール

- ・名古屋大学での，神経内科領域における心身医学的臨床研究（筋ジストロフィーの心理・行動特性，内科領域の軽症うつ病など）と臨床〔1970～1980〕
- ・厚生省，労働省の技官としての行政（難病対策，水俣病対策，労働安全衛生法にもとづく事業者の努力義務としてトータル・ヘルスプロモーション・プラン：THPを導入など）〔1980～1989〕
- ・産業医科大学，自治医科大学での教育・研究〔1989～1994〕
- ・富士ゼロックス（株）での産業医活動（企業における THP の実践）とそれを背景とした，全国の産業保健スタッフへの情報発信（著作，講演など）〔1994～2011〕
- ・開業産業医としての実務〔2011～〕と大学院での「心身健康科学」教育〔2012～〕

概要・趣旨

身体疾患を主な対象としてきた医学は，自然科学的な対応の難しい心理問題を可能な限り排除する方向で進んできた。精神医学は異常心理を扱う領域として医学の中に入っており，リエゾン精神医学の展開などにより，精神科医と身体疾患を扱う医師との交流が増えてはいるものの，両者の相互理解にはまだ解決を要する問題が残されている。

心身医学は，心身相関を研究し，その成果を用いて身体疾患を治療することを専門とする領域であるが，心の問題の解明に自然科学的な手法で立ち向かうことの方法論的な困難さがいまだに隘路になっており，その展開のテンポは遅い。

トータル・ヘルスプロモーション・プラン（THP）は，労働力人口の高齢化，高度情報化の進展が急速に進むことが予測されていた 1980 年代の中頃に，それに伴う労働者の健康影響への対応をヘルスプロモーションの観点から行うことを目的として計画され，1988 年に法制化されたものである。トータルという用語は，ここでは，「全年齢層を対象とした心身両面からの」という意味で用いられている。THP は事業者に課された労働安全衛生法上の努力義務であり，その具体的な内容は，「労働者の心の健康の保持増進のための指針」（健康の保持増進のための指針 公示第 3 号，平成 18 年）に示されている。

THP では健康指導のひとつとして「心理相談」を行うことになっているが，20 年の THP 活動のなかで，これがもっとも実行されなかった活動であった。1990 年代中頃から，労働者のメンタルヘルス不調の増加が問題になり始め，1998 年以降にはそれが経営上のリスクの問題として取り上げられるようになったにもかかわらず，対策は遅々として進まなかった。

この要因としてあげておく必要がある事項としてはつぎのようなことがある。

- ① THP の主導者として位置づけた産業医がその役割を果たせなかった
- ② 産業医の協働者として位置づけた「心理相談担当者」が，①との関係もあり育たなかった
- ③ ヘルス・プロモーションの視点で施策を考えたと，メンタルヘルス不調者が多発したため，メンタルヘルス不調者対応に追われるようになり，ヘルス・プロモーションの視点からの活動が展開できなかった

もちろん，1998 年以降の日本経済がおかれた状況がもっとも大きな障害要因であるが，現在でも，この状況は労働者の健康に良くない影響を与える方向に進んでいる。企業におけるメンタルヘルス対策の担い手を確保し，その資質をどう維持していくかが大きな課題として横たわっている。